

# ひとりひとりを大切にする千葉市政を!

議会報告

千葉市議会議員

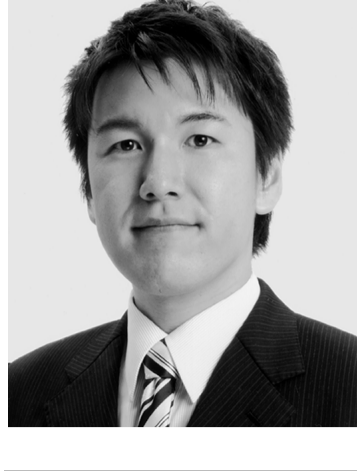
# 亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2018年夏の便り号 (通算第38号)

自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173

事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108

ホームページは亀井たくまで検索をお願いします! メール DQG06110@nifty.ne.jp



## 子ども・女性に犯罪に巻き込まれない安全なまちへ! ひとりひとりの平和・人権が大切にされるまちへ!

市民の皆様、いつも市政へのご理解とご協力をありがとうございます。平成30年6月定例議会(第2回定例会)は、6月7日~6月21日の日程で開催され、亀井たくまは6月20日に29日目の一般質問に登壇いたしました。質問・答弁の内容を抜粋・要約してご報告申し上げます。(市議会ホームページで録音映像がご覧いただけます)

この夏はひどい暑さが続き、学校へのエアコン設置に市民の皆様の関心が高まっております。現在、市内の学校においては、「学校施設の耐震化」を完了させ、「トイレの様式化」を鋭意進めておりますが、「エアコンの早期設置」についてもしっかりと議会として取り組む決意です。今後も市民の皆様とともにより良いまちづくりに邁進してまいります!

## 1 犯罪のない安心・安全のまちづくりについて

- Q 罪のない市民・子どもが巻き込まれる事件を防止するための対策を。市内の犯罪認知件数は着実に減少しているが、中央区は発生件数・割合が多い。中央区における対策強化を。
- A 市内6区の刑法犯認知件数は9534件だが、中央区は3212件で全体の33・7%を占め、市内で一番多い状況である。千葉駅周辺や富士見、蘇我駅周辺などの繁華街が多いことが影響していると考えられる。犯罪抑止に向け、今年度、千葉駅周辺に防犯カメラを設置し、防犯パトロール隊への支援強化を行っていく。
- Q 防犯カメラの増設推進を。周知による犯罪抑止を。
- A 昨年度から、町内自治会への防犯カメラ設置補助事業を開始し、今後、市内で240台を設置していく。また、今年度、JR千葉駅と稲毛駅に防犯カメラを20台設置し、31年度に蘇我駅と海浜幕張駅に15台設置していく。
- Q 公用車へのドライブレコーダー設置促進を。周知・活用による犯罪抑止を。
- A 市の公用車985台のうち、367台にドライブレコーダーを設置しており、今後、すべての車両に設置していく。車両に「ドライブレコーダー設置」などのステッカーを貼るなどの対策・活用を検討してまいります。
- Q 子どもや女性、市民が犯罪に巻き込まれず、安心して暮らせる地域づくりを。子ども・女性の安全を守るための取り組みを。
- A これまでの地域におけるセーフティウォッチャー、防犯パトロール隊などの取り組みに加え、新たに県・県警との連携強化によるDVや子どもの虐待事件への対応強化、防犯カメラの設置促進を進めることで、今後も子ども・女性の安全対策に取り組んでまいります。
- Q こどもの安全のため、地域における不審者情報等の早期共有化が重要だ。不審者情報や防犯情報の配信の充実とSNS等の利活用を。
- A 現在、「安全・安心メール」により犯罪の発生状況や不審者の情報を提供しているが、今後、SNSの即時性・双方向性などのメリットを踏まえ、防犯対策への活用を検討してまいります。



【毎回皆様の声を届けています】

(1)

- Q 県内でも悪質な動物虐待事件が急増しているが、十分な対応がされない現状がある。動物虐待は重大犯罪につながるため、動物虐待問題への意識・対応強化が必要だ。「市地域防犯計画」への位置づけを。
- A 市防犯計画では、「軽微な犯罪」等の項目で位置付けられていたことから、次期計画では表記を工夫改善していきたい。今後も犬猫の殺傷事件は警察や関係機関と連携し、適切に対処していく。
- Q 以前の議会でも取り上げたが、犯罪に巻き込まれた被害者の方々への支援を。全国的には条例化や見舞金制度の創設が進んでいる自治体もある。本市も積極的な取り組みを。
- A 犯罪被害者の視点立った相談・連絡体制の検討を進めており、今後、千葉県犯罪被害者支援センターと連携し、体制整備に努めてまいります。
- Q 性犯罪の被害者の支援をはじめ、犯罪被害に遭われた市民への支援を。支援制度のさらなる周知・推進を。
- A 犯罪被害者は直接被害だけでなく、その後もフラッシュバックなどの二次被害にも苦しめられていると承知している。市として、相談・連絡体制構築に向けて検討を進めており、千葉県犯罪被害者支援センター等とも連携し、円滑な被害者支援体制づくりと周知に取り組んでいく。

### 亀井はこう考える! 犯罪被害に悲しむ市民を1人でも減らしたい。

罪のない子ども・女性をはじめ一般市民が犠牲になる事件が後を絶ちません。そんな事件を1件でも減らしたいという思いで質問・提案を行いました。市民が犯罪に巻き込まれず、安心して暮らせる地域にする这是我的責務です。

●「防犯カメラ・ドライブレコーダーの設置促進」・・・市内では犯罪認知件数は平成12年度より一貫して減少していますが、中央区は全体の約34%であり、件数・割合ともに高い状況です。千葉駅・蘇我駅などの大きな駅や富士見などの繁華街が多いことが一因のようですが、周辺地域に住む市民は心配です。今後、千葉駅・蘇我駅等への主要駅に防犯カメラ設置を進めるとともに、自治会・地域単位での防犯カメラ設置促進にも力を入れてまいります。

昨今では、防犯カメラがさまざまな事件の早期解決に役立つとともに、犯罪抑止にもつながっており、今後は犯罪抑止へしっかりとつながる取り組み、犯罪を躊躇させる環境づくりが大切と考えます。以前の議会でも、市の公用車ドライブレコーダーの設置と活用を求めましたが、現在、公用車へのドライブレコーダー設置が順次進んでおり、今後抑止につながる観点での取り組みについても検討するとの答弁がありました。地域では、防犯を主目的として活動している「青色パトロールカー」も巡回活動を行っていることから、青パトへのドライブレコーダー設置促進についても求めました。

●「子ども・女性の安全」・・・子どもや女性が巻き込まれる事件は本当に許せません。私も地域で子どもの見守り活動の一端を担っておりますが、特に子どもの安全は、地域における情報の早期の共有化が急務です。子ども・女性の安全を守るための効果的な取り組みの強化と不審者情報などの情報配信の充実とSNS等の利活用について求めました。

●「動物虐待への早期対応」・・・動物虐待事件も全国で増加傾向です。動物虐待は、地域では認知件数をはるかに超える虐待事件が発生していますが、実際には十分な対応がされていないのが実態です。動物虐待事件は欧米では重大な犯罪であり、「動物虐待を起こす人はやがて重大犯罪にエスカレートしていく」と言われています。動物虐待問題への対応強化が必要と考えます。市として「地域防犯計画」にしっかりと対応策を位置づけるよう求めました。

●「犯罪被害者の方々への支援」・・・平成29年3月議会で取り上げ、今回、千葉県第4期地域防犯計画で犯罪被害者支援の充実が位置づけられました。全国的には条例化や見舞金制度や支援制度の創設・充実が進んでいる自治体もあり、本市も「相談体制の充実」はもとより、取り組みの前進が急がれます。私もこれまで犯罪被害者の方のお話を伺う機会がありました。その心の中は筆舌に尽くしがたいものです。事件から何年経っても、苦しんでいる方がおられます。性犯罪被害者支援も含めて、犯罪被害に遭われた方が、泣き寝入りせず、しっかりと守られ、支援される仕組みづくりを急ぐべきです。性犯罪被害者や犯罪被害者へワンストップの支援が届くように、支援制度の充実と周知啓発を求めました。

犯罪の被害に遭う方を1人でも減らすために防犯対策をしっかりと進めることが、被害者を生み出さないという点で、被害者支援にもつながるのではないかと私は考えます。犯罪によって傷つき、悲しむ市民を1人でも減らせるように、各種施策の前進を今後も求めていきます。

## 2 平和・人権の課題について

- Q 戦後73年を迎え、戦争や原爆の記憶も風化しつつある。平和啓発事業や平和教育の推進を。被爆国として核兵器廃絶に向けた取り組みは。
- A 毎年、市民への平和啓発のために、「千葉空襲写真パネル展」「平和啓発冊子の作成・配布」「平和の折紙」

(2)

り鶴の広島・長崎への贈呈」「戦跡めぐりウォーキング」「平和アニメ上映・戦災体験講話会」などを実施しているが、開催場所の拡大や展示の工夫にも取り組んでいる。戦跡については、千葉公園や椿森公園に戦跡の案内板を増設している。核廃絶に向けては、区役所・公民館等で「ヒバクシャ国際署名」の資料配架等に

取り組む。核のない世界に向けた行動に取り組んでいる。

- Q 戦争を知る世代が減る中で、風化させないように、学び、語り継いでいくことが大切だ。戦争や原爆の記憶を風化させない、本市の平和教育の充実を。

A 各学校では、社会・道徳・総合学習の授業で、戦時中の様子や原爆被害について掲載している平和啓発パンフレットやパネルの資料を活用し、子どもたちが戦争の悲惨さや平和の大切さを実感できるよう指導している。また、千葉空襲(七夕空襲)を取り上げるとともに、戦争を経験した方からのお話を伺う機会も設け、戦争を身近に考えられるよう配慮している。今後も戦争体験者からの講話を聞く機会や講話を取ったDVDを活用しながら、平和教育を充実させてまいります。

- Q 色覚障がい(色盲・色弱)の方々への支援を。学校における児童生徒への支援を。色覚に配慮した、色が見やすいチョークが開発されているが、「色覚に配慮したチョーク」の導入推進を。

A 各学校では、児童生徒1人1人の見え方を把握し、座席の位置や文字の大きさ等について、適切な配慮を行っている。「色覚に配慮したチョーク」については、色覚障がいの児童生徒がいる学校など、一部で導入しているが、今後、管理職等の研修会を通して、積極的な使用について周知してまいります。

- Q 多様な性を生きたるLGBTの方々への支援を。

A 「LGBTへの理解促進と支援」を重点施策に位置づけ、LGBTに関する講座の実施、市民・事業者への理解促進、公的証明書への性別欄の記載の廃止・工夫に取り組むとともに、本年3月には市職員向けの詳しいガイドラインを作成・周知し、職員への研修などに積極的に取り組んでいる。

- Q 4月に開催された環境経済委員会では、当事者団体であるレインボー千葉の会から提出された陳情が採択されたが、この陳情を受けて、市としての今後の取り組みは。「同性パートナーシップ証明制度」の導入は。

A 今後も市民向けの講座の実施や情報提供を通じて理解促進を図り、市職員向けの研修・講座に導入し、職員の間で定着をはかっていく。当事者の方々に向けた施策として、「特設専門相談」を実施するとともに、当事者団体から陳情のあった「パートナーシップ証明制度」について、先進自治体の取り組みを参考に、9月を目途に案を取りまとめ、平成31年4月の実施を目指してまいります。



【椿森公園に設置された戦跡案内板】

### 亀井はこう考える! 市民ひとりひとりが輝く共生社会の実現を!

●「平和啓発事業・平和教育の推進、核廃絶の推進」・・・戦後73年を迎え、戦争の歴史・記憶の継承が大切と考え、毎年取り組んでいるテーマです。市では、上記の答弁の通り、平和啓発事業を毎年実施しており、今年度も新しい工夫や取り組みを確認できました。戦争を直接知る世代が年々減る中で、今後も施策の充実・工夫や学校における歴史教育・平和教育の推進も求められます。また、先般、被爆者唯一の被爆国としてしっかりと学び、語り継いでいくことが私たちの責務と感じます。

●「色覚障がいのの方々への支援」・・・これまで幾度も取り組んできたテーマです。色覚障がいは、かつては色盲・色弱とも言われ、男性の5%、女性の0.2%が該当します。私は平成28年第3回定例会で、学校における児童生徒への支援について取り上げ、学校では児童生徒に配慮した支援が行われていますが、昨今では「色覚に配慮した、色が見やすいチョーク」が開発された支援が行政的

の推進のために、本市のすべての学校で「色覚に配慮された見やすいチョーク」の導入を求めました。

●「LGBTの方々への支援」・・・この社会には多様な性を生きたる人たちがいることを忘れてはなりません。市ではこれまでLGBTの理解促進などに取り組んでおり、職員向けのガイドラインの作成や研修を通じて、職員アンケートでも意識向上が進んでいることが明らかになっています。今後も当事者の方々の相談・支援の充実をはかるとともに、「同性パートナーシップ証明制度」の31年4月の導入にむけて取り組みを進めるとの答弁がありました。今後、パートナーシップ証明が導入されると、同性カップルの市営住宅への入居、病院での手術の同意や面会、里親登録など、さまざまな面で施策転換が必要となることから、関係所管に施策転換へ向けた検討や準備を急ぐよう提起しました。

初当選以来、「ひとりひとりが大切にされる市政」をスローガンに活動してまいりました。今回も市民の皆様からいただいた声をもとに、多くの観点から質問・提案に取り組みましたが、今後もひとりひとりが大切にされる「平和な共生社会」に向けて、さまざまな課題にチャレンジする決意です。どうぞ意見をお寄せください。 ※このほか「旧優生保護法による強制不妊手術問題」についても質問を行いました。

(3)

## 日々精進の記録! ~写真で見る活動記録~

### 西日本豪雨災害の支援活動へ!

~来るべき災害に備え、対策を急げ!~

西日本豪雨災害支援のため、7月20日~21日に岡山県倉敷市真備町を訪れ、被災された住宅の泥の掻き出し作業や片づけ作業に従事しました。水や電気が復旧しておらず、たいへん厳しい暑さの中で、全国的にボランティアがたくさん駆けつけ、行政の方々とも意見交換なども行うことができました。

本市は、今後30年以内に「震度6弱以上」の地震が発生する確率が全国最高の85%とされており、さらなる対策が急がれます。これまで全国各地での被災地支援活動に従事してきましたが、学んだ経験を本市の防災施策に活かしていきたいと考えています。



### 地方創生・オリパラ特別委員会委員長に就任!

6月議会において、地方創生・オリンピック・パラリンピック調査特別委員会委員長を拝命いたしました。同委員会では、「千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」に合わせたまちづくり、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会成功に向けた本市の取り組みの推進などについて、調査・審議を行います。

多くの委員とともに、「持続可能なまちづくりの推進」「パラリンピックを通じた共生社会実現」に向けて、精一杯活動してまいります。



### 市政へのご意見は

TEL/FAX 043-255-8108

携帯電話 090-3694-4173

携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします! お手紙も大歓迎です!

ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>

メール DQG06110@nifty.ne.jp



フェイスブック、ツイッター、ブログもやっています! 亀井たくまで検索ください!

### 亀井たくま(38歳)、日々修行中です!!

1980(昭和55)年3月生まれ。中央区椿森出身・在住。

・作草部幼稚園・都賀小・椿森中  
・市立千葉高・早稲田大学政治経済学部  
・早稲田大学大学院公共経営研究科修了。  
2007年市議選で21票差で落選。2011年、2015年当選。

#### 地域の仕事

・千葉市スポーツ推進委員・千葉市青少年相談員  
・院内小、椿森中地区団体役員  
・椿森3丁目・5丁目地区役員  
・第4地区自治会連絡協議会理事  
・千葉ライオンズクラブ会長

・行政書士・社会福祉士  
・精神保健福祉士・愛玩動物飼養管理士  
・防災士・ホームヘルパー2級

#### 議会の仕事

・地方創生・オリパラ調査特別委員会委員長  
・都市建設委員会委員  
・廃棄物減量等推進審議会委員

#### 趣味

・明治~昭和の懐メロ。童話・唱歌。  
・好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎。  
(地域で演奏・茶話会のボランティアができます)  
・NPO東海林太郎顕彰会理事(本部・秋田市)

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします!

ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。

郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくま と 亀の歩みの会

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました!

(4)